

光市立島田小学校

家庭学習の手引き



光市立島田小学校学校運営協議会

は じ め に

子どもたちは、地域の宝です。地域ぐるみで、子どもたちを守り、その成長を支え、そして、多様な「学び」の機会を保障することはとても大切なことです。

学校での学習は、子どもたちが、将来、社会人として自立するための「学び」の基礎となる重要なものです。しかし、学校での学習は、基礎・基本を重視するあまり受容的な「学び」にかたよりがちになります。そこで、家庭、地域におきましては、子どもたちの自発的な「学び」を保障していく必要があります。

島田小学校では、平成25年度より全学年で「家庭学習ノート」を準備し、ご家庭との連携により、子どもたちの自発的な「学び」の力を育てていると聞いております。

島田小学校の3つの「学び」

- 1 学習素材や教材とのかかわりの「学び」・・・自分の「世界」づくり
- 2 仲間や教師とのかかわりの「学び」・・・自分の「仲間」づくり
- 3 自分自身とのかかわりの「学び」・・・「自分」づくり

コミュニティスクールの運営におきましても、子どもたちの自発的な「学び」の機会を提供し、島田小学校の掲げる3つの「学び」を支援してまいりたいと考えております。保護者のみなさまには「家庭学習」についてご理解をいただき、お子さまの自発的な「学び」を育てていただきますようお願いいたします。なお、学習の仕方等でご不明な点やお困りのことがありましたら、各担任の先生までご相談されてください。

平成26年4月

光市立島田小学校学校運営協議会長 山 本 俊 男

目 次

○ 家庭学習を充実させるためのポイント		2、3
1 家庭学習の目的		2
2 家庭学習の時間のめやす		2
3 家庭学習での「学び」の雰囲気づくり		2
4 家庭学習での「ひとり学び」の内容例		2
5 家庭学習での「ひとり学び」の取組例		3
6 家庭学習との連携		3
○ 小学校に入るまでに(参考)		4
○ 小学校1・2年生		5
○ 小学校3・4年生		6
○ 小学校5・6年生		7
○ 中学校1・2年生(参考)		8
○ 中学校3年生(参考)		9
○ 将来の夢は		10

家庭学習を充実させるためのポイント

学力向上へ

1 家庭学習の目的

- (1) 習慣 …… 毎日、学習する習慣をつけるためです。
- (2) 習熟 …… 繰り返しの練習で学習できるようにするためです。
- (3) 定着 …… 学校での学習をしっかり身につけるためです。
- (4) 自立 …… 自分のために、ひとりで学習できるようにするためです。

2 家庭学習の時間のめやす

- 1・2年(低学年) …… 30分
- 3・4年(中学年) …… 45分
- 5・6年(高学年) …… 60分

※ 中学校では、90分をめやすにしています。



3 家庭学習での「学び」の雰囲気づくり

- (1) 家庭学習ノートを準備します。
- (2) 決まった時刻になったら、テレビ(ゲーム等)を消します。(3点固定時刻①)
- (3) 整理整頓された場所で、正しい姿勢になります。
- (4) 学年に応じた時間、集中して学習します。
- (5) 決まった時刻になったら、就寝します。(3点固定時刻②)
- (6) 決まった時刻になったら、起床します。(3点固定時刻③)
- (7) 朝食をしっかりとります。
- (8) 元気よく、登校します。

中学校では、この3つの時刻を自分で設定して、時間を意識した取組をしています。(3点固定時刻)

4 家庭学習での「ひとり学び」の内容例

- (1) これまで学校で学習したところの苦手な問題に取り組む。
⇒ 苦手意識の克服ができる。
- (2) ここ最近に学校で学習したところの復習に取り組む。
⇒ 学習したことを確実に身につけることができる。
- (3) 生き物や宇宙など、興味や関心のあるものを調べる学習に取り組む。
⇒ 知的好奇心を育むことができる。
- (4) 漢字や計算など、自分の得意をさらに伸ばす学習に取り組む。
⇒ 自分の力を高め、自信をつけることができる。

別の取組例

理解系学習 …… 覚える内容や学習した内容をわかりやすくまとめる。

記憶系学習 …… 覚えたい内容を何度も書く、その時に声を出してしっかりと手を動かす。

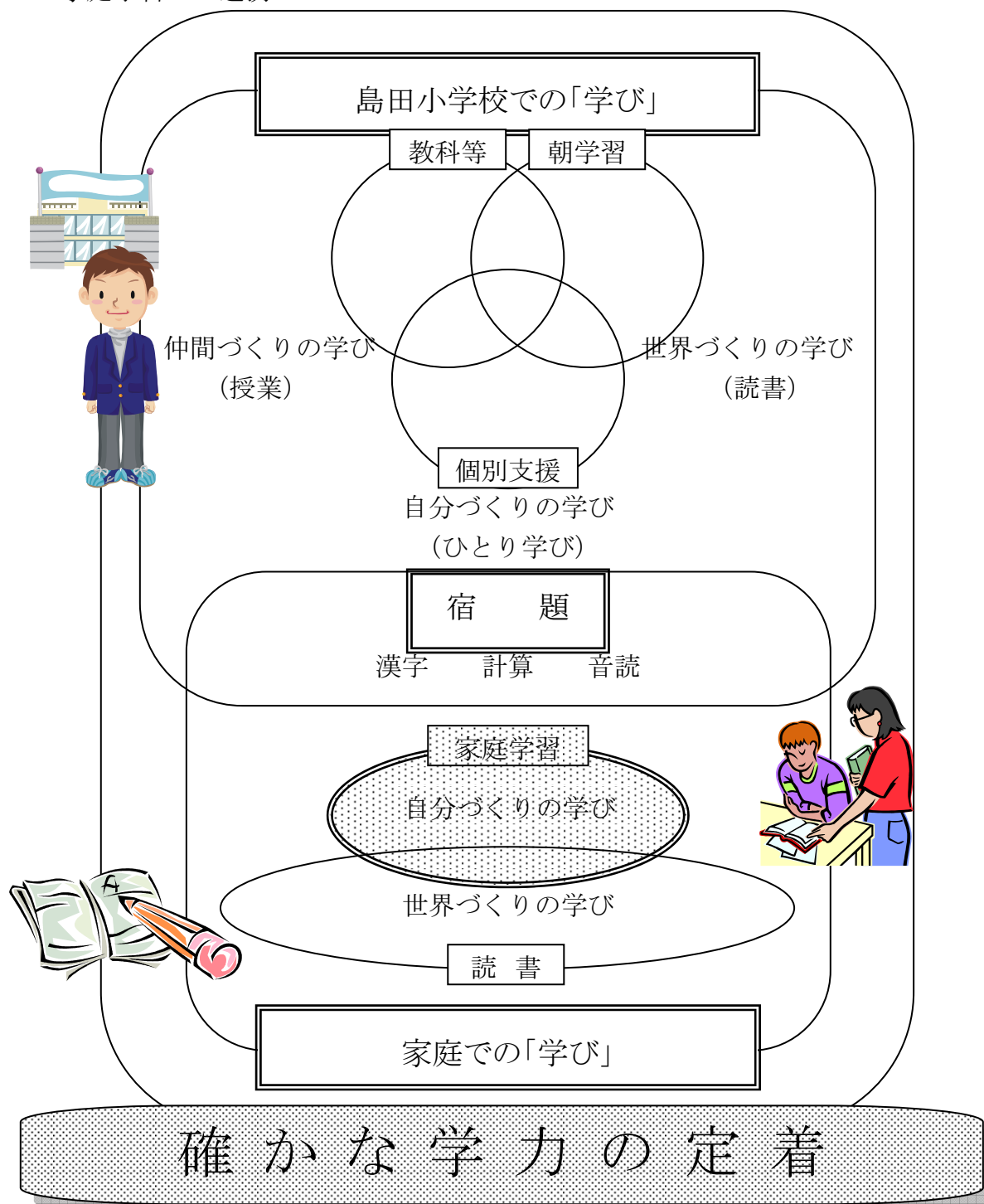
挑戦系学習 …… 覚えた内容を確認することで、問題を写し、自分で解き、答え合わせをする。

5 家庭学習での「ひとり学び」の取組例

- (1) 日替わり方式 … 今日は算数の文章問題、明日は語句調べ
- (2) 週替わり方式 … 今週は分数の計算問題、来週はかけ算問題
- (3) 月替わり方式 … 今月は4年生の漢字練習、来月は5年生の漢字練習
- (4) 組み合わせ方式 … 算数は(1)方式での取組、国語は(3)方式での取組



6 家庭学習との連携



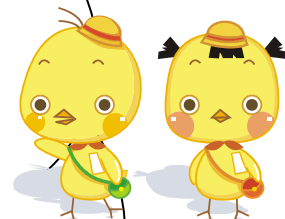
小学校に入るまでに(参考)

「やる気」を育てる



【「育ち」や「学び」の特徴】

- ・身の回りのことが、自分自身でできるようになってきます。
- ・「よいこと」、「悪いこと」などを、自分で考えて行動する力が育ってきます。
- ・何をしているときでも、その中でおもしろさを見つけて活動します。
- ・「なぜ」「どうして」などの質問が盛んになり、知識欲が強くなり、言葉も豊かになってきます。
- ・集団の仲間の存在が重要になってきます。けんかも起こりますが、解決しようとするようになります。(批判する、許容する、承認する)



【就学前教育として】

保育所・幼稚園での学習内容は

先生との信頼関係のなかで、子どもが安定感と信頼感をもって、自発的・意欲的に環境(身の周りの自然、物や人)とかかわるようにし、主体的に集団に適応できるようにしています。

「あいさつ」から始め、「身の回りの整理整頓」や「役割の分担や手伝い」、「遊びを通した学習」など、メリハリのある生活リズムで、心をたくましくし、気力を高めています。

当たり前のことが当たり前にできるように

規範意識、マナーの育成など基本的な生活習慣の確立は、さまざまな学力を身に付ける上で大切な土台となります。子ども同士のつながり、または先生とのつながり、家族とのつながり、さらには地域の人や様々な人とのつながりを持てる子どもの学力は伸びるといわれています。基本的な生活習慣の確立は、子どもが他者とのつながり(コミュニケーション能力)を高める上で大切です。

- | | | | | | |
|----------|-------------|---------|----------|-------------|----------|
| ・あいさつ | ・靴をならべる | ・掃除をする | ・手伝いをする | ・早寝、早起き、朝ご飯 | ・排便習慣 |
| ・時間を守る | ・目上の人を大切にする | ・人の話を聞く | ・正しい言葉遣い | ・ルール、規則を守る | ・いじめをしない |
| ・相手を思いやる | など | | | | |

「やる気」を育むかわり方

- ①「やる気」を促すほめ言葉!! …「よくできたね」「〇〇を頑張ったね」(他の子どもと比較しない)
- ②子どもとの対話を大切に!! …子どもの思いを聴いてあげて(心の安定、落ち着き、根気強さが生まれます)
- ③夢や目標に向かって努力する大切さを!! …夢や努力することの大切さを話してください
- ④絵本の読み聞かせを!! …寝る前の10分間など、スキンシップを図り親子関係を深めます



小学校1・2年生

基本的な学習習慣を身につける



【「育ち」や「学び」の特徴】

- ・一人で学習内容や方法を決めることは、まだ無理です。家族の手助けが欠かせません。
- ・「やったね!」「よくできたね!」など、まわりのほめ言葉がすばらしい意欲を生み出します。
- ・いろいろなことに興味・関心をもち、何でも知りたがりです。
- ・「早寝」「早起き」「しっかり朝食」「朝の排便」「正しい姿勢で座る」など、基本的な生活習慣が身につくと学習の習慣も身につきます。

【学校での学習内容】

- ・「読み、書き、計算」などの基礎的・基本的な学習が始まります。
- ・教科ごとの45分間授業が基本です。先生の話をしっかり聞いて学習します。
- ・生活と結びついた学習が多く、具体物を使ったり、実際に体験したりします。
- ・繰り返し練習することで、力のつく学習内容がたくさんあります。
- ・「鉛筆を正しくもつ」「明日の学習準備をする」「整理整頓する」も、基本となる学習です。

宿題

全部できるようになれば、まずは大丈夫です。宿題はやり終える子どもにしましょう。家庭の支援やアドバイスが必要です。



家庭学習

国語

(音読) 楽しんで、すらすら読めるよう毎日練習しましょう。

句読点に気をつけて、大きな声ではっきりと読みましょう。

(ひらがな・カタカナ・漢字)

書き順に気をつけて、ていねいにゆっくりと書きましょう。

繰り返し何度も練習しましょう。

(読書) いろいろな種類の本を読んでみましょう。読み聞かせをするのもいいですね。

(作文) したことや見たこと、思ったことなどを書きましょう。

算数

(計算) 楽しみながら計算に慣れるようにしましょう。正しくできるようになれば少しずつスピードをあげて練習しましょう。

生活

休みの日には、自然散策や動・植物園などに出かけ、本物の動植物にふれましょう。お手伝いをしましょう。学んだことを、生活の中で生かしてみましょう。

体育

苦手なことも練習してみましょう。(逆上がり、水泳など)

音楽

学校で習った楽器を練習してみましょう。(鍵盤ハーモニカなど)

小学校3・4年生

自ら机に向かう習慣を育てる



【「育ち」や「学び」の特徴】

- ・自立心が芽生え、自分でやろうとすることが多くなります。まだ手助けは必要です。
- ・好奇心が旺盛で、行動範囲も広がります。
- ・みんなと行動することを好むとともに、口答えや反抗が少しずつ見られるようになります。
- ・家族の温かい助言や励ましの言葉が、やる気を起こさせます。
- ・学校生活に慣れ、生活が安定しますが、時間のルーズさが出てきます。
- ・男女の意識がだんだん強くなります。

【学校での学習内容】

- ・「総合的な学習の時間」や「社会科」「理科」の学習が始まり、学習範囲も広がります。
- ・資料集や地図帳、辞典などを使い、調べ学習をすることが多くなります。
- ・新しい漢字を、たくさん習います。(3・4年生とも200字)
- ・算数科では分数や小数など、少しずつ抽象的な内容を学び始めます。
- ・四則計算(＋、－、×、÷)の基礎・基本を徹底して学びます。

宿題

宿題の量が難しい時期になります。子どもの力に合った内容や量になっているか、必要な時は、担任と相談してみましょう。



家庭学習

国語

- (音読) はっきりとした声で、毎日一回は声に出して読みましょう。
- (漢字) ドリルなどを活用して、繰り返していねいに練習しましょう。
国語辞典や漢字辞典の使い方に慣れるよう手元に置き、常に活用しましょう。
- (読書) いろいろな種類の本を読んでみましょう。
家庭で「読書タイム」をつくり、家族全員で本に親しみましょう。
- (作文) 様子がよくわかるように、会話を入れて詳しく書きましょう。

算数

- (計算) 計算は手順が身につくよう、毎日少しずつ計算しましょう。
筆算は位をそろえて書き、手順を確かめながら計算しましょう。
計算式を見て、文章題をつくってみましょう。
定規やコンパスなどの道具に慣れましょう。

社会

身近な地域の様子を調べたり、地図帳を使って調べたりしましょう。

理科

植物や昆虫などを育てて観察してみましょう。

体育

体力づくりをしましょう。

音楽

リコーダー(縦笛)の練習をしましょう。

小学校5・6年生

予定を立て、自ら学習を進める



【「育ち」や「学び」の特徴】

- ・小学校の学習のまとめをして、中学校につなげる大切な時期です。
- ・得意な教科と苦手な教科の意識をし始めます。
- ・先生や家族のアドバイスにより、学習に対する意欲や興味・関心が大きく左右されます。
- ・自分を客観的に見つめたり、友だちと自分を比べたりするようになります。
- ・考える力も大人並みになり、ときには大人への反抗も見られます。

【学校での学習内容】

- ・「家庭科」の学習が始まり、衣食住の基礎・基本を学びます。
- ・学習内容が多くなる上に、社会や世界に目を向けた学習もします。
- ・「外国語活動」が始まり、国際的な視点を身につけていきます。
- ・自分で課題を見つけ、解決していく学習（問題解決的な学習）が多くなります。
- ・自ら学ぶことの面白さや楽しさを経験させ「学び方」や「ものの考え方」を育てます。

宿題

学校での学習を振り返りながら、教科書やノートを参考にして、苦手な内容もねばり強く取り組むようにアドバイスしましょう。



家庭学習

国語

- (音読) 間を取りながら読むなど、自分のめあてを決めて練習しましょう。
詩や俳句、短歌などを暗唱したり、朗読したりしましょう。
他の教科の教科書を音読すると、重要な用語や内容を理解できるようになります。
- (漢字) 漢字の構成や字形を意識して練習しましょう。
習った漢字を使って、熟語や短文をつくりましょう。
- (読書) いろいろな種類の本を読んでみましょう。
家庭で「読書タイム」を作り、家族全員で本に親しみ、感想を話し合ってみましょう。
- (作文) 自分の気持ちや考えを整理しながら、たくさん書いてみましょう。

算数

- (計算) よく間違える計算は、繰り返し計算しましょう。
答えの確かめを、自分でできるようになりましょう。

社会

ニュースや新聞を通して、社会の様子に目を向けてみましょう。

理科

宇宙や生命のふしぎなど、興味のあることを調べてみましょう。

体育

自分のめあてを決めて、基礎体力づくりを行いましょう。

音楽

機会を見て、リコーダー(縦笛)の練習をしましょう。

家庭

家庭科で学習したことを、家庭生活の中で実践しましょう。

中学校1・2年生(参考)

計画的・継続的な学びを進める



【「育ち」や「学び」の特徴】

いわゆる「思春期」(大人の入口)といわれる時期です。

- ・心と体の成長がアンバランスになりがちで、不安や悩みを抱えやすくなります。
- ・家族に依存したいという気持ちと家族から自立したいという気持ちが混在します。
- ・矛盾する大人の態度に反抗的になります。また、仲間や友だちの影響を強く受けます。
- ・他人から見た自分を意識し、他人と比べて落ち込んだり、無理に合わせようとしたりします。
- ・人の役に立ち、地域に貢献することで、大きく自尊感情(自己有用感)が育ちます。
- ・中学校生活を有意義に過ごすためには、部活動との両立が大切です。



【学校での学習内容】

授業の内容が大きく変わります。

- ・教科ごとに先生が変わることに加え、小学校で学習する内容に比べて、質・量ともに、ずいぶんと違ったものになります。

自分から課題を見つける家庭学習に変化していきます。

- ・最初は宿題から、やがては自分自身で勉強方法や内容を工夫して、何をするか自分で考え、決められるようになることが大切です。



家庭学習例

- ・教科書に載っている基本的な用語や漢字等は、必ず理解し、覚えましょう。
- ・問題集を活用して学習内容を定着させましょう。また、いろいろな問題に挑戦して、応用力をつけましょう。
- ・ノートを取り方、まとめ方に工夫をしましょう。疑問点や発展的な内容も書き込めるようにして、オリジナルな自分なりのノートを作りましょう。
- ・教科書の事柄だけでなく、広く社会で起こっている事柄にも興味や関心をもち、積極的にテレビのニュースを見たり、新聞を読んだりしましょう。

中学校3年生(参考)

目標を持ち、実現に努力する



【「育ち」や「学び」の特徴】

- ・中学校の学習のまとめをして、高校につなげる大切な学年です。
- ・自分の進路実現に向けて、具体的な目標を自ら決め、粘り強い意志と取組をもって、継続することが大切になります。
- ・自分に合った学習環境を作り、けじめをもって毎日学習しましょう。



【進路を実現するために】



将来の夢を見つけよう!!

まだ、自分が将来何をしたいか決まっていな人は何となくでもよいので、自分の進みたい道を探しましょう。夢がある人は強いです。目標に向かってがんばれます。自分の一番好きな教科は何かを考えることもよいと思いますが、他にも、いろいろな本を読んだり、テレビや映画を見たり、音楽を聴いたり、外に出かけていろいろな体験をして、アンテナを伸ばしましょう。

夢がある人はその夢を実現させるために何をしたらよいかを考えましょう。大学に行くのか、短大や専門学校に行くのか、高校を出て就職するのか、そのためにはどの高校へ行くのか、道筋を立てて考えてみてください。「13歳のハローワーク」や「なるには book」シリーズは将来を考えるのにおすすめの本です。

高校について知ろう!!

多くの高校がオープンスクールや説明会、部活動体験を行います。自分が進みたい高校だけでなく、進む可能性のありそうな高校をできるだけたくさん知しましょう。

勉強しよう!!

夢をつかむためには努力が欠かせません。

3年生になると、今授業で習っていること以外にも、中学校1・2年生に学習したことの総復習も必要になります。今までのテストファイルを見て、定期テストの解き直しをしてみましょう。定期テストはその範囲の一番重要な問題が集まっています。それを完璧に解けるようにするだけで、すごく力がつきます。もちろん、各教科の先生からのアドバイスもしっかり聞きましょう。

勉強だけじゃだめですよ。

「受験生だから」と甘えず、普段の生活もしっかりしてください。早寝早起き、家庭でのお手伝い、部活動もしっかりしましょう。特に、部活動を最後までしっかりがんばった人は、受験でも最後までしっかりとがんばりきった人が多いです。最後までやりきる力をつけましょう!!

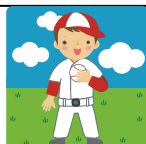
将来の夢は



○ 小学校入学前

になりたい

○ 小学校1年生



になりたい

○ 小学校2年生

になりたい

○ 小学校3年生

になりたい

○ 小学校4年生

になりたい

○ 小学校5年生

になりたい

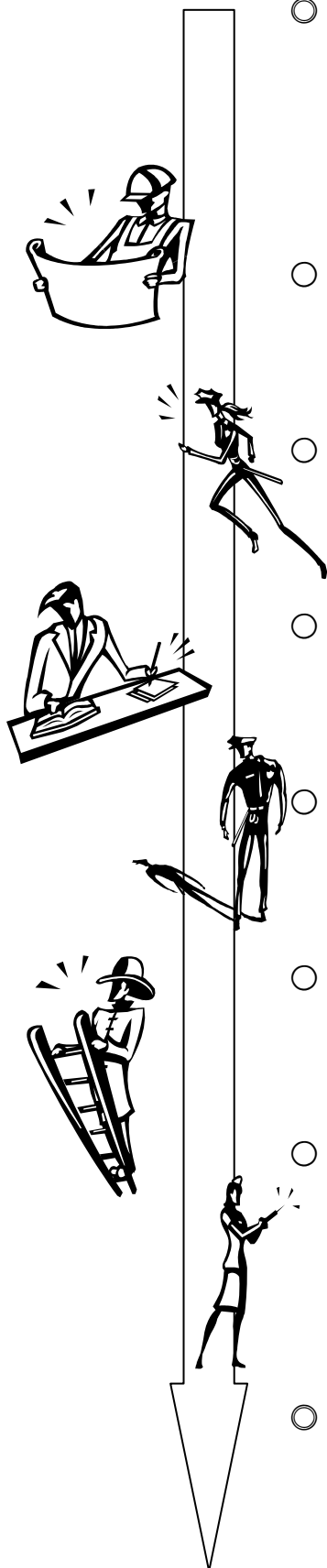
○ 小学校6年生

になりたい

○ 小学校卒業後



になりたい





な ま え